

MARY PORTAS

▪ Branding and Retail Expert

LONDON
SPEAKER
BUREAU



小売専門家のMary Portasは、おそらく小売およびブランドコミュニケーションに関する英国の最優先機関です。ロンドンで最も尊敬されている小売およびブランドコミュニケーション代理店の1つであるYellowdoorの創設者としてMaryは商店を通じてQueen of Shopsとして認められています。

ジョン・ルイスで土曜日の女の子として彼女の小売業のキャリアを始めた後、メアリーは後でハロッズ、そしてトップショップで窓と展示を担当するようになりました。Maryは1989年にHarvey Nicholsに入社し、ブランドを今日の世界的に有名な店やレストラングループに変えたと信じています。変革を導いた後、メアリーは1997年にクリエイティブディレクターとしてハーヴェイニコルズを去りました。

Topics

- Branding
- Innovation
- Innovators
- Marketing

彼女の先見性と独自のブランド知識、小売動向、そして消費者の見識から、彼女は小売、ファッション、贅沢そして美容の分野で統合的で創造的なブランドコミュニケーションの必要性を見たとき、イエロードアを立ち上げました。メアリーの指導の下、イエロードアは、クラークス、ルイ・ヴィトン、オアシス、スワロフスキー、ダンヒル、ボーデン、トーマス・ピンク、ウェストフィールド・ロンドン、パテック・フィリップなど、ハイストリートで幅広いブランドのキャンペーンを作成しました。

Maryの最初の本、Windows Themes of Retail Displayは、テムズとハドソンによって5つの言語で出版され、すぐにウィンドウディスプレイの世界的権威となりました。4月7日、メアリーの2冊目の「How to Shop」は、21世紀の究極の小売療法ガイドをBBCの本で出版しました。

2005年、メアリーはサタデーテレグラフマガジン - ショップで週刊特集を書くように依頼されました。 - 全国のお店の様子を見直します。メアリーは現在、英国賞の年次Telegraph Best Shopsを審査するパネルを指揮しており、彼女のコラムは小売業界の（そして不機嫌そうな買い物客の）決定的な読みの1つとなっています。

2007年5月Optomen Televisionによって制作されたBBC2シリーズのMary Queen of Shopsの発売によりMaryのテレビキャリアが始まりました。ショーはファッション小売業界の舞台裏でメアリーを連れて行きました。そして、彼女に一連の失敗している独立したブティックを救うことに挑戦しました。2008年夏に放映された第2シリーズは、その成功を受けて、2つのRoyal Television Society Awardsにノミネートされました。

2009年春、メアリーは私たちの世界が直面している2つの重大な危機 - 金融と環境 - に、それぞれ独自の方法で、チャリティーショップのメアリー女王と答えました。メアリーは「チャイルドの子供たち」というタブバードを寄付し、慈善事業の最もパフォーマンスの悪い店である「オーピントン」を選び、それを最高のものに変えました。メアリーはその後、セーブ・ザ・チルドレンのグローバル小売大使になり、「リビング&ギビング」というコンセプトで新しいタイプのチャリティーショッピングを開拓しました - 最近ロンドンのプリムローズヒルに3番

目の常設リビング&ギビングショップをオープンしました。

2009年6月19日、ガラシエルスでの式典で、Herriot-Watt大学は、彼女のキャリアと、小売業界内でのマーケティングおよびブランドコミュニケーションの向上への貢献を評価してPortasに文学博士号を授与しました。

メアリー・オブ・ショップスの3番目で最後のBBCシリーズのために、メアリーは6人のイギリスの店主を救助して、2010年6月にビジネスを続けるために彼らの闘争を披露することによってスーパーマーケットを引き受けました。